

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 この説明書は、必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意 P.1	■設置方法 P.5
■輸送上のご注意 P.1	■連結方法 P.7
■キャスター取付時のご注意 P.1	■外装パネルの着脱方法 P.8
■施工上のご注意 P.2	■ドア左開きの変更方法 P.9
■使用上のご注意 P.2	■マウントアングル・マウントレールの移動方法 P.10
■ファン使用時のご注意 P.3	■シャッター式配線孔の使用法 P.11
■コンセントバー使用時のご注意 P.3	■ブラインドシート(配線孔)の通線方法 P.11
■各部の名称・仕様 P.4	■各種オプションの取付方法 P.12

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
 なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■輸送上のご注意

注意	
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。
	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締め過ぎないでください。特に締め過ぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締め過ぎにより、ドア・側板などの変形やヒンジ部の破損の原因になります。

■キャスター取付時のご注意

警告	
	本製品にキャスターを取り付ける場合は、キャスター適正荷重およびラック搭載可能質量を超えないようにしてください。 転倒・破損・変形の原因になります。 【RD72-4(S)】適正荷重：175kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-5(S)】適正荷重：180kg(4個使用の場合、製品質量を含む) 【RD72-6(S)】適正荷重：240kg(4個使用の場合、製品質量を含む) (製品質量はカタログを参照)

注意	
指に注意	キャスターのストッパーを手で操作する際は、可動部に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。
	設置後は、必ずキャスターのストッパーを ON にしてください。転倒・破損の原因になります。

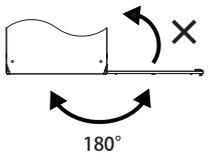
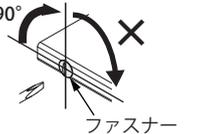
■施工上のご注意

 警告	
 アースせよ	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。
	アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。地震などで転倒・破損の原因になります。
	電気工事(取付・施工)は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。
	配線は適切な電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。
	電源コードまたはケーブルを配線する際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。
	ノックアウト加工をする際は、突起やバリをヤスリなどで確実に除去してください。配線の損傷・けがの原因になります。
	壁掛けタイプの設置を行う際は、必ず2人以上で作業をし、十分強度のある壁面に固定してください。落下・破損・けがの原因になります。

 注意	
	ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

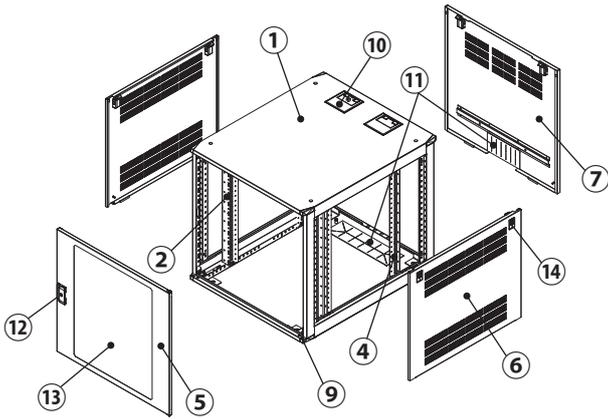
■使用上のご注意

 警告	
	機器をスライドレールなどにより引き出す際は、2段以上同時に引き出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。
	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレールなどにより引き出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。
	重量物を搭載する際は、2人以上で作業してください。また、適切な保護具を着用してください。けがの原因になります。
	保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。

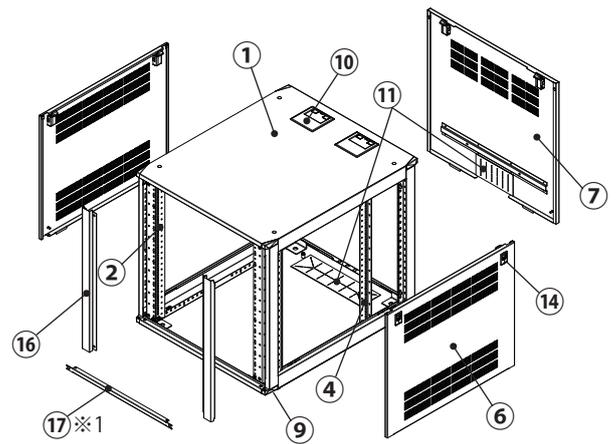
 注意	
 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。 機器をスライドレールなどにより引き出したり、収納したりする際は、機器とボデーの間に指を挟まないよう注意してください。けがの原因になります。
	次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・振動、衝撃のある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 ・水滴のかかる場所 ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・ヘコミ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。
	天井面へは局所的な荷重をかけないでください。変形の原因になります。
	本製品の上に乗ったり、もたれ掛かったりしないでください。破損・転倒・けがの原因になります。
	本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。また、機器を搭載した状態で横倒しにしないでください。変形・機器の破損の原因になります。 ドアの開閉角度は約 180°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。ドアおよびヒンジ部の変形・破損の原因になります。 
	シリンダーにキーを差し込んだ状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。 シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。 シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	台板取付用ファスナーは 90°以上回さないでください。破損の原因になります。 

■各部の名称・仕様

【スタンダードタイプ FV】

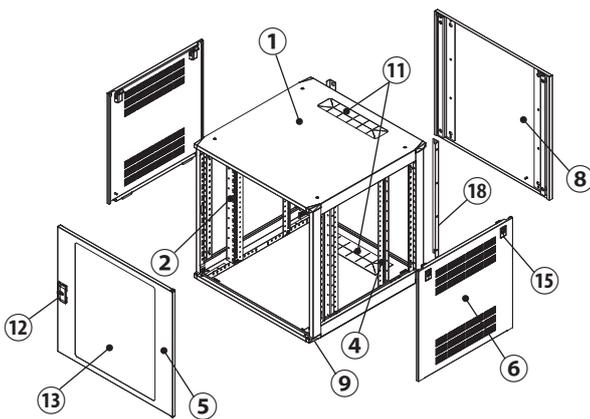


【ドアなしタイプ FVN】

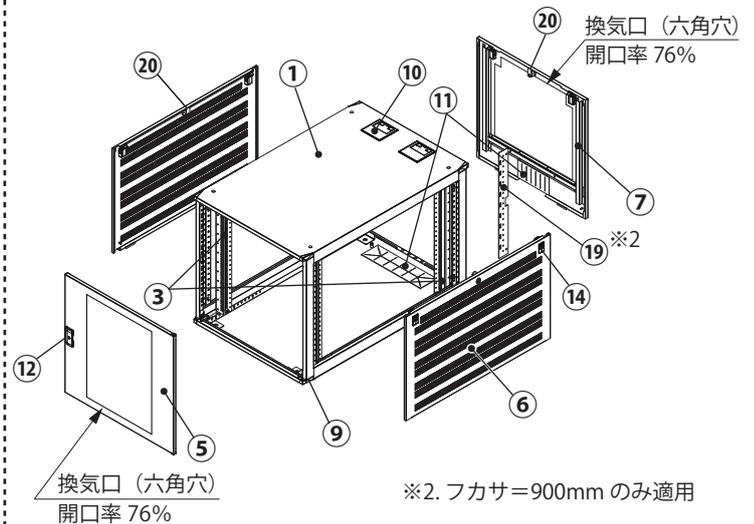


※1. FVN-E のみ適用

【壁掛けタイプ FVW】



【サーバ収納タイプ FVS】



※2. フカサ=900mm のみ適用

番号	部品名	材質	板厚 mm	数量
①	ボデー	鉄	0.8/1.0/2.3	1コ
②	マウントアングル	〃	2.3	2コ
③	ケージナット用マウントアングル	〃	〃	4コ
④	マウントレール	〃	〃	2コ
⑤	ドア	〃	0.8	1コ
⑥	側板	〃	〃	2コ
⑦	背面板	〃	〃	1コ
⑧		〃	0.8/2.3	1コ
⑨	コーナーカバー	ABS	—	8コ
⑩	シャッター式配線孔	〃	—	2コ
⑪	ブラインドシート	PE/PET	—	2コ
⑫	ラッチハンドル	ABS	—	1コ
⑬	ドアパネル	PMMA	2.0	1コ
⑭	スライドラッチ	PP/POM	—	6コ
⑮		〃	—	4コ
⑯	化粧フレーム	鉄	1.0	2コ
⑰	調整パネル	〃	0.8	1コ
⑱	取付フレーム	〃	2.3	2コ
⑲	コンセントバー取付金具	〃	1.6	1コ
⑳	コインロック	—	—	3コ

●付属品

名称	FV	FVN	FVW	FVS	備考
キー	1コ	—	1コ	4コ	ドア・側板・背面板(FVS)施錠用
ケージナット用取付工具	—	—	—	1コ	ケージナット取付用
ひも	—	—	2本	—	側板落下防止用
取扱説明書(本紙)	1部	1部	1部	1部	—

ご注意

- ・ボデーは全溶接構造ですので、分解や現地組立はできません。
- ・サーバを搭載する場合は、各サーバによってレールの形状などが異なり、取り付けできない場合があります。
- ・組替仕様・オプション実装(同送)・個別対応により、付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- ・化粧ねじ【RD75】・ケージナット【RD751】は付属されていませんので、別途で用意ください。

■設置方法

⚠警告



アンカーボルトは必ず M10 を使用してください。
地震などで転倒・破損の原因になります。



壁掛けタイプの設置を行う際は、必ず 2 人以上で作業をし、
十分強度のある壁面に固定してください。落下・破損・けが
の原因になります。

⚠注意



ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

【対象機種：FV・FVN・FVS】

1. ラック本体底面の取付穴にあるプラフット(4か所)を⊖ドライバーなどを利用し、ラック内側からプラフットの中央部を押し取り外してください。(図1)
2. ラック本体底面のアンカーボルト取付穴(φ14 4か所)に、アンカーボルト M10 で床面に固定してください。(図2)

ボルト径	最小埋込深さ mm
M10	45

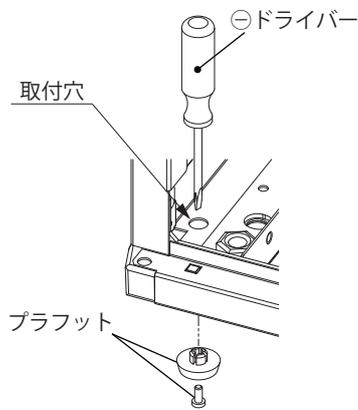


図1

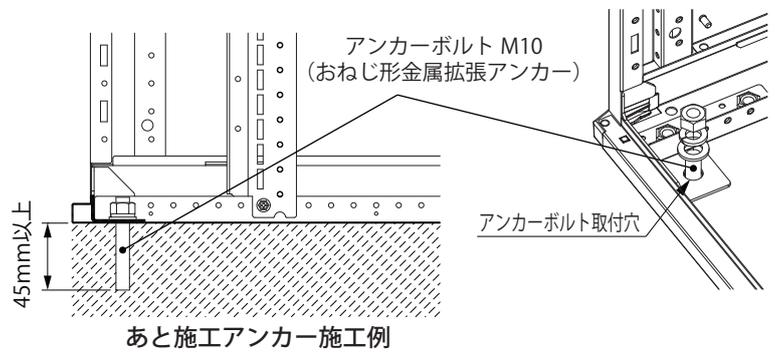
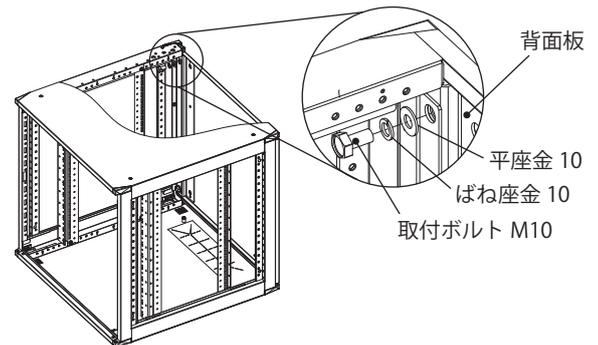


図2

【対象機種：FVW】

1. ドアを取り外してください。(P.8「●ドアの着脱方法」を参照)
2. 側板(2コ)を取り外してください。(P.8「●側板・背面板の着脱方法」を参照)
3. 背面板に取り付いている取付ボルト M10・ばね座金 10・平座金 10(4か所)を取り外し、背面板を取り外してください。



4. 背面板をアンカーボルト取付穴(φ14 4か所)にてアンカーボルト M10 で壁面に固定してください。(図3)

⚠ご注意

背面板にフックを引掛けるスペースを確保するため、天井面から 40mm 以上離してください。(図4)

ボルト径	最小埋込深さ mm
M10	45

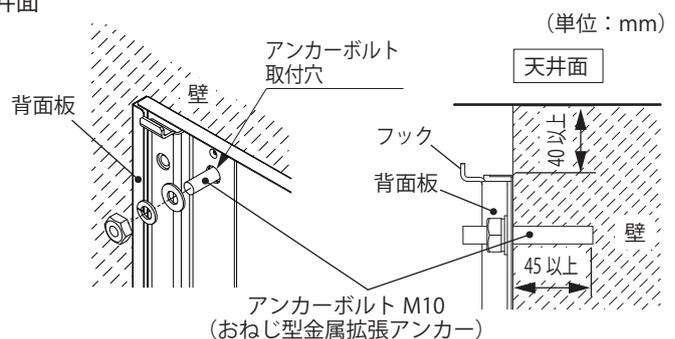
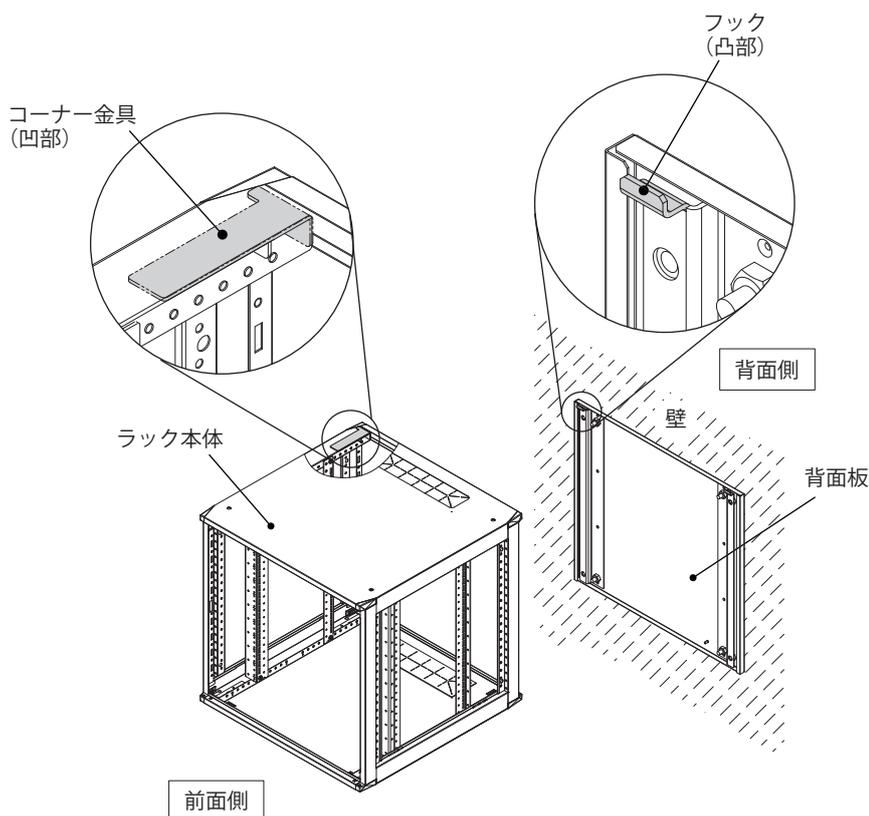


図3

図4

5. 背面板上部のフック(凸部)に、ラック本体背面側のコーナ金具(凹部)を引掛けてください。

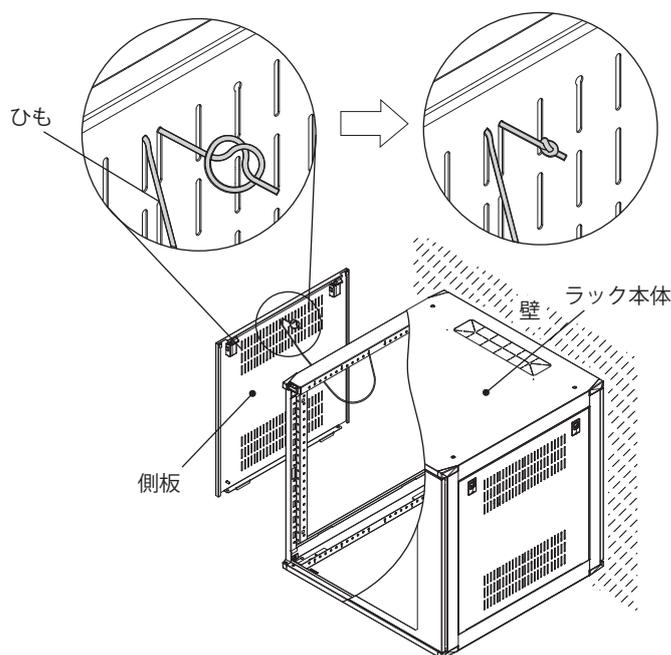


6. 3. で取り外した取付ボルト M10・ばね座金 10・平座金 10 をラック本体(4 か所)に取り付けてください。

7. 側板にひもを取り付けてください。

ご注意

ひもの先端は止め結びにするなどして結び目がほどけないようにしてください。



8. 側板に取り付けたひもの反対側をラック本体に取り付けてください。

9. 1.2. と逆の手順でドア・側板を取り付けてください。

⚠ 注意

側板落下防止用のひもは確実に結んで、側板から抜けな
ないことを確認してください。側板の脱落・破損・けがの原因
になります。

取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。
付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれ
があります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M10	19.6 ~ 29.4

■連結方法

【対象機種：FV・FVN・FVS】

●タテ連結方法

連結に使用する六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8（各 4 コ）・平座金 8（8 コ）は、別途ご用意ください。

1. 連結面のシャッター式配線孔（2 か所）を取り外してください。（P.11「●シャッター式配線孔の取外方法」を参照）
2. ラック本体底面の取付穴にあるプラフット（4 か所）を⊖ドライバーなどを利用し、ラック内側からプラフットの中央部を押して取り外してください。（図 5）
3. ラック内側から連結面のホールプラグ（4 か所）を指で押しながら、ラック外側のホールプラグの爪部（2 か所）を⊖ドライバーで押し取り外してください。（図 6）
4. ラック天井面と底面の連結穴（φ10 4 か所）に、六角ボルト M8×20・六角ナット M8・ばね座金 8・平座金 8 を取り付けてください。（図 7）

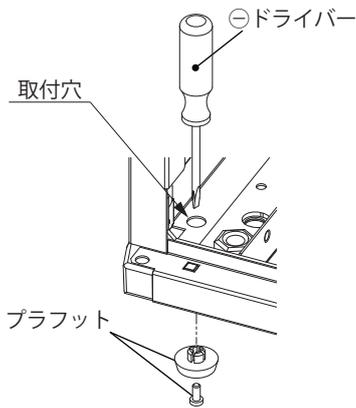


図 5

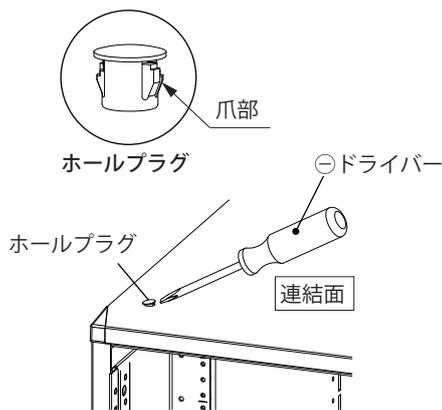


図 6

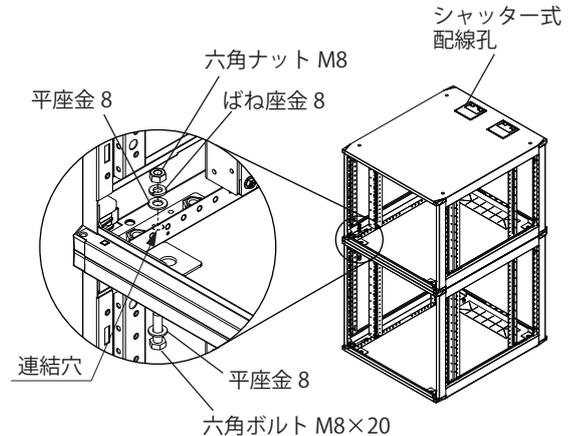


図 7

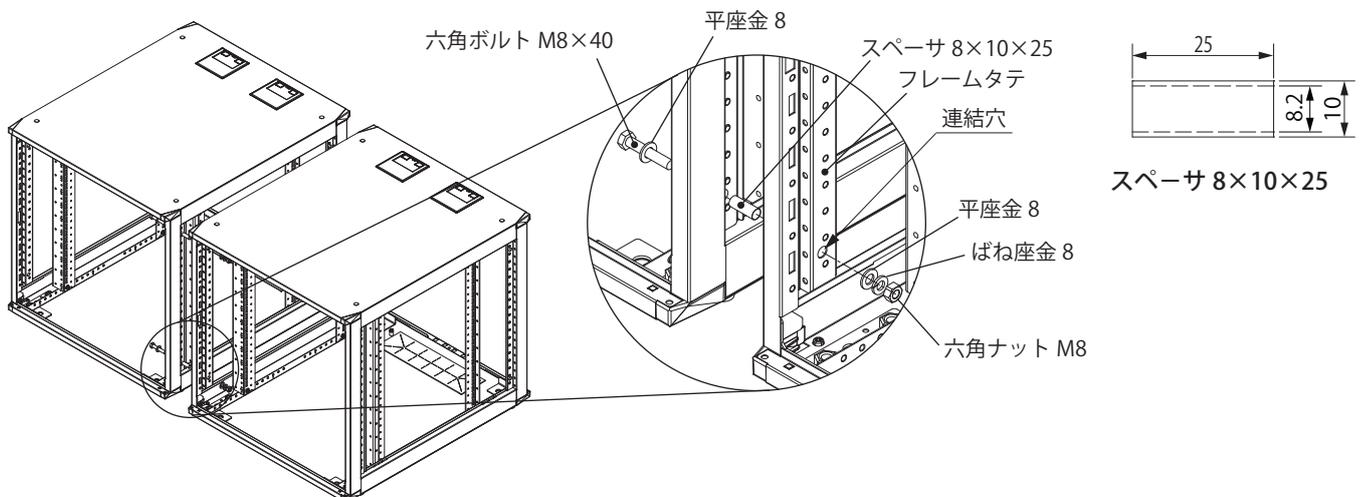
ご注意

- ・高さは、2 台合計 1600mm 以下としてください。
- ・搭載可能質量は、2 台合計 150kg です。
- ・重量物は下段のラックに搭載し、重心位置を低くしてください。
- ・アンカーボルト固定など転倒防止対策を施してください。

●ヨコ連結方法

連結に使用する六角ボルト M8×40・六角ナット M8・ばね座金 8・スペーサ 8×10×25（各 4 コ）・平座金 8（8 コ）は、別途ご用意ください。

1. 連結面の側板を取り外してください。（P.8「●側板・背面板の着脱方法」を参照）
2. フレームタテ側面の連結穴（φ10 各 4 か所）に六角ボルト M8×40・六角ナット M8・ばね座金 8・平座金 8・スペーサ 8×10×25 を取り付けてください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M8	7.8 ~ 10.8

■外装パネルの着脱方法

●ドアの着脱方法

1. ドアを開けた状態で、上部のヒンジのレバーを下にさげてください。(図 8)
2. ドア全体を斜め上に持ち上げ、ドアを取り外してください。(図 9)
3. ドアの取り付けは、逆の手順で行ってください。

ご注意

- ・ドアの取り付けは、ドア下部のピンが確実に取付穴に入っていることを確認してから、ドア上部のピンを差し込んでください。
- ・ドア取り付け後、ヒンジ(上部・下部)のレバーを横にスライドさせて、ドアが外れないか、がたつきがないかを確認してください。(図 10)

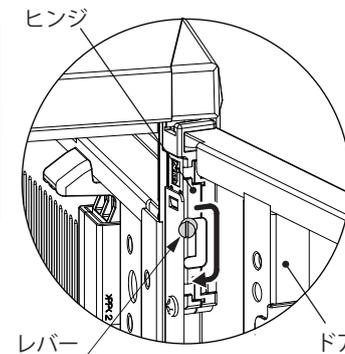
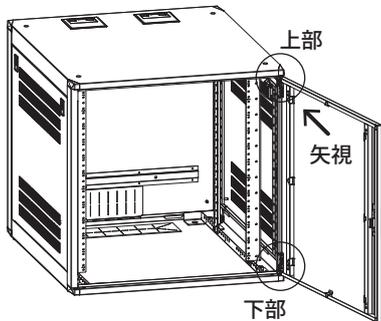


図 8 上部

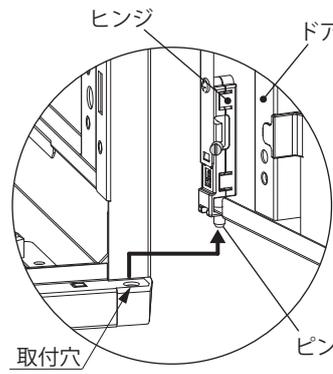


図 9 下部

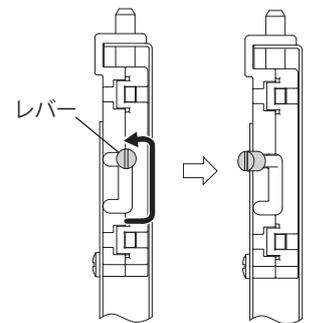
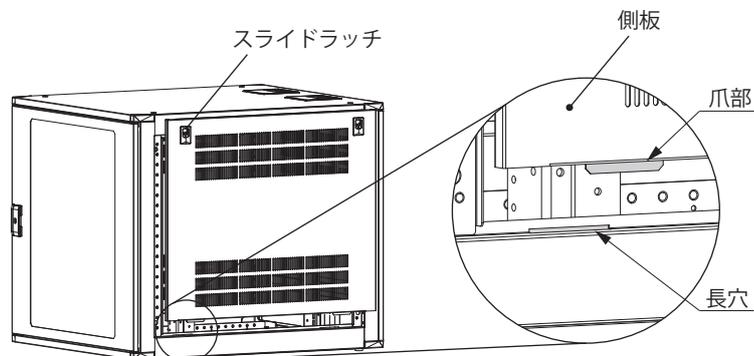


図 10 矢視図

●側板・背面板の着脱方法

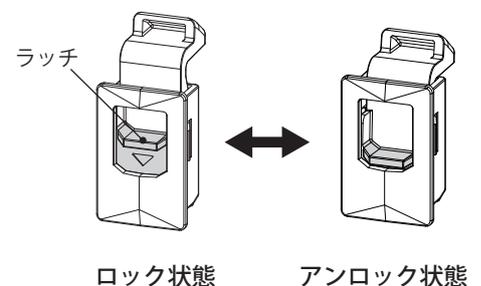
1. 側板・背面板のスライドラッチを操作して取り外してください。(「●スライドラッチの操作方法」を参照)
2. 側板・背面板全体を手前へ倒し、上へ持ち上げて下部の爪部(2か所)をボデーの長穴から抜いて、側板・背面板を取り外してください。
3. 取り付けの場合は、逆の手順で行ってください。



●スライドラッチの操作方法

側板や背面板の着脱は、スライドラッチで行います。

1. ラッチを下げると、外装パネルを取り外すことができます。
2. ラッチを上げると、外装パネルを固定することができます。

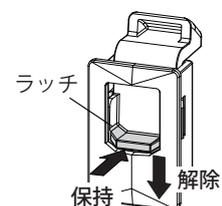


ラッチをアンロック状態に保持できる機能が付いています。

1. ラッチを下げ、奥に押し込むとアンロック状態を保持することができます。
2. アンロック状態からさらに下に押し出すと解除することができます。

ご注意

外装パネルを取り付けた後に、ラッチがロック状態となり確実に掛かっているか確認してください。



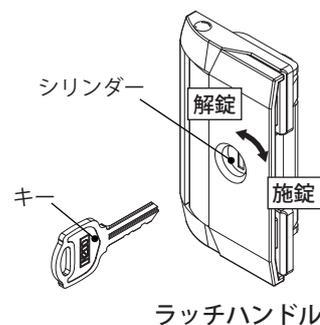
アンロック保持・解除方法

●ラッチハンドルの施錠・解錠方法

1. ラッチハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
 - ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。

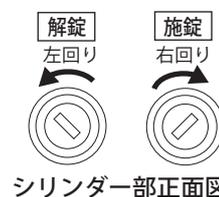


●コインロックの施錠・解錠方法

1. コインロックのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠されます。

ご注意

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
 - ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



⚠ 注意

	シリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		シリンダーの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約 1 万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。
	シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。		

■ドア左開きの変更方法

1. ドアを取り外してください。(P.8「●ドアの着脱方法」を参照)
2. ドアを上下反転させてください。(図 11)
3. ドアを取り付けてください。(P.8「●ドアの着脱方法」を参照)

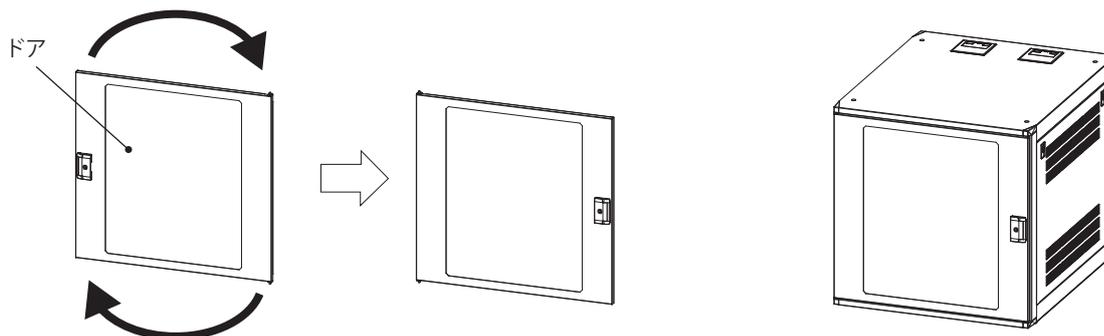


図 11

■マウントアングル・マウントレールの移動方法

機器の寸法に合わせて、マウントアングル・マウントレールを移動して調整してください。

ご注意

- マウントアングル・マウントレールを移動させると、「表 1」のオプション実装ができない場合があります。
- 背面側のマウントレール・ケージナット用マウントアングルを移動させる際、シャッター式配線孔があり、作業しづらい場合があります。その際は、シャッター式配線孔を取り外してください。(P.11「●シャッター式配線孔の取外方法」を参照)

【対象機種：FV・FVW】

マウントアングル・マウントレールの S タイトねじ M5 (8 か所) を取り外して、マウントアングル・マウントレールを移動 (前後 20mm ピッチ) してください。

ご注意

FVW は、壁面に固定する前にマウントアングル・マウントレールを移動してください。

【対象機種：FVN】

マウントレールの S タイトねじ M5 (4 か所) を取り外して、マウントレールを移動 (前後 20mm ピッチ) してください。

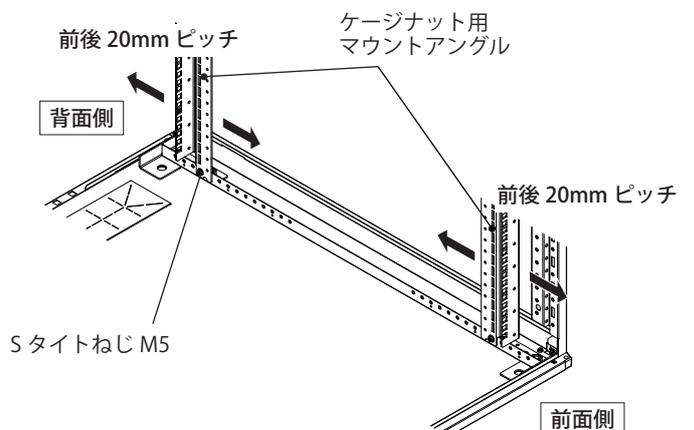
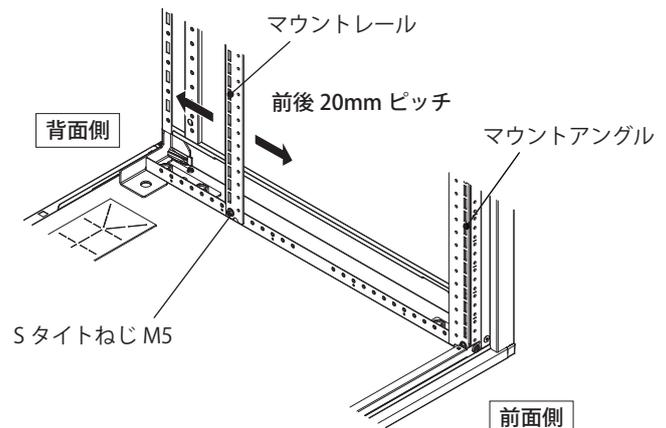
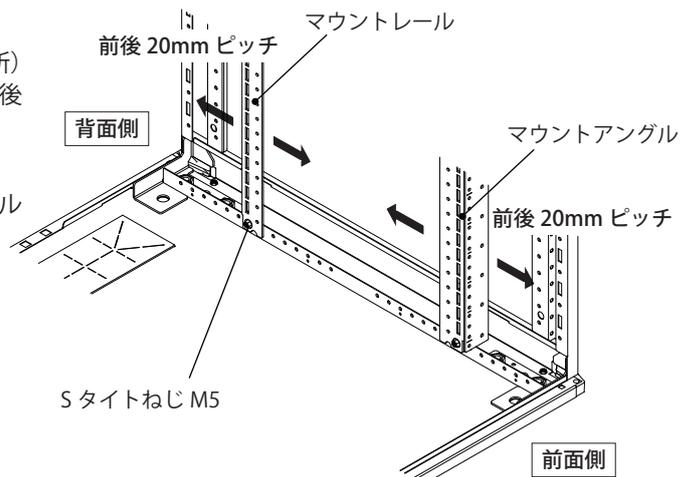
マウントアングルの移動はできません。

【対象機種：FVS】

ケージナット用マウントアングルの S タイトねじ M5 (8 か所) を取り外して、ケージナット用マウントアングルを移動 (前後 20mm ピッチ) してください。

表 1

製品名	品名記号
重量用台板セット	RD151
スリット付台板セット	RD152
重量用スライド式台板セット	RD161
スリット付スライド式台板セット	RD162
山型レール	RD62
L型レール	RD65
重量用L型レール	RD651
線止めバー	RD83



⚠ 注意

取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

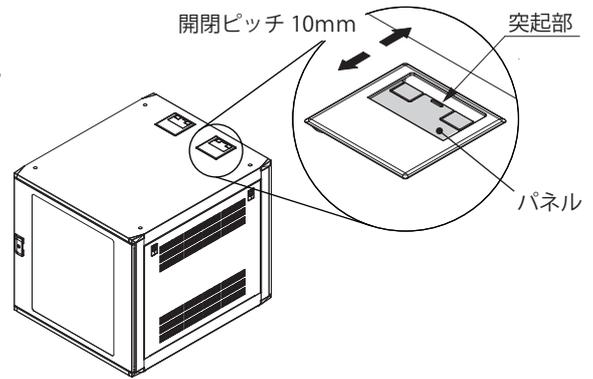
ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、S タイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

■シャッター式配線孔の使用法

●シャッター式配線孔の開閉方法

突起部を使用して、パネルを開閉(開閉ピッチ 10mm)してください。



●シャッター式配線孔の取外方法

1. パネルを閉じてください。
2. ラックの内側から爪部③(2か所)を押して、パネルを上を持ち上げてください。(図 12)
3. 背面側の爪部④(2か所)を天井板から抜いて、取り外してください。(図 13)

【ご注意】

パネルが開いた状態でシャッター式配線孔の着脱はできません。

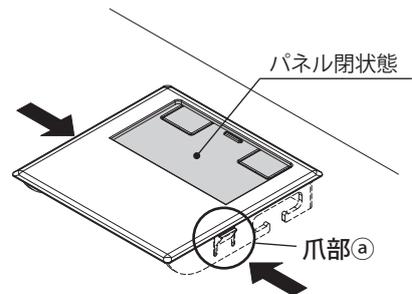


図 12

●シャッター式配線孔の取付方法

1. パネルを閉じてください。
2. 爪部④(2か所)を天井板の背面側に差し込み、上から押し付けて取り付けてください。(図 13)

【ご注意】

パネルが開いた状態でシャッター式配線孔の着脱はできません。

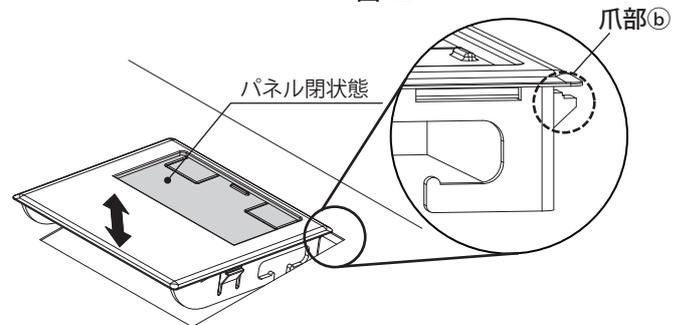
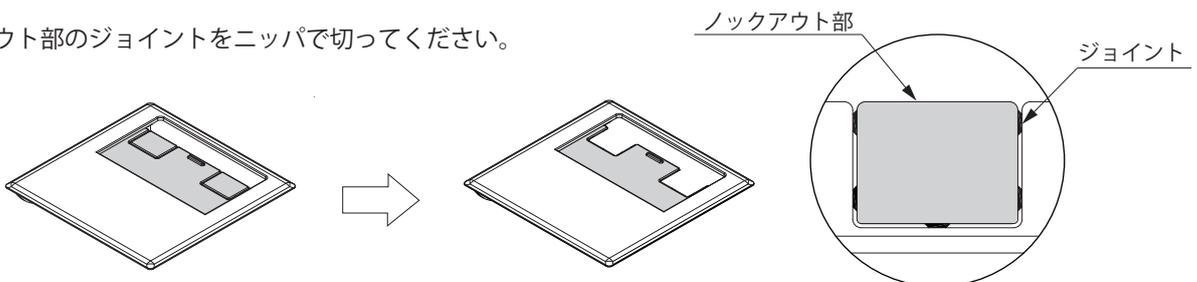


図 13

●ノックアウト部の加工方法

ノックアウト部のジョイントをニッパで切ってください。



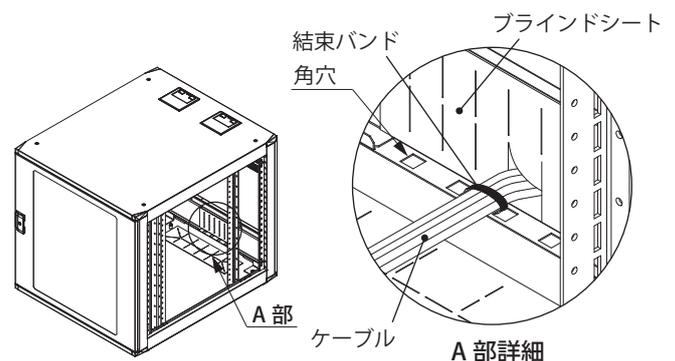
⚠ 注意



ノックアウト加工をする際は、突起やバリをヤスリなどで確実に除去してください。
配線の損傷・けがの原因になります。

■ブラインドシート(配線孔)の通線方法

底面、背面のブラインドシートは、はさみやカッターナイフなどで切り込みを入れてケーブルを通線してください。
ケーブルは、底板の角穴を利用して結束バンドなどで固定することができます。



■各種オプションの取付方法

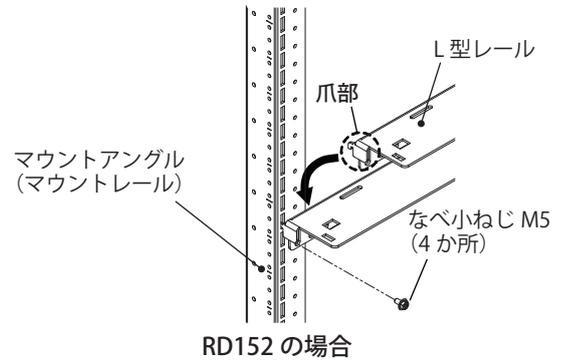
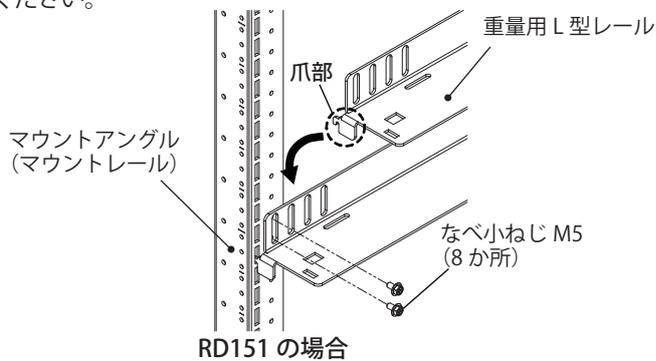
●重量用台板セット【RD151-□SN(K)】・スリット付台板セット【RD152-□SN(K)】

1. 重量用 L 型レール・L 型レールの取付

重量用 L 型レール・L 型レールの爪部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引掛けて、付属のなべ小ねじ M5 で固定してください。

ご注意

マウントアングル(マウントレール)に番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付けているか確認してください。



2. 台板の取付

※図は RD152 を示します。RD151 も同様に取り付けてください。

①台板の爪部を L 型レールの角穴(後側)に差し込んで、位置決めしてください。

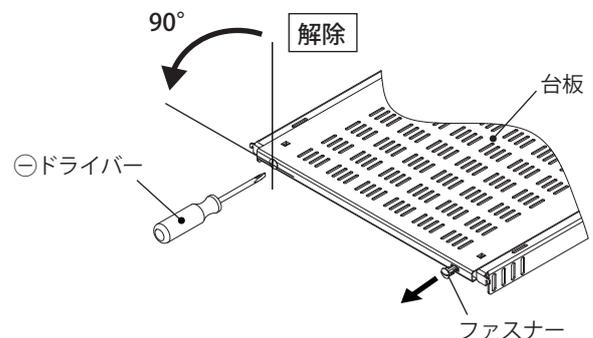
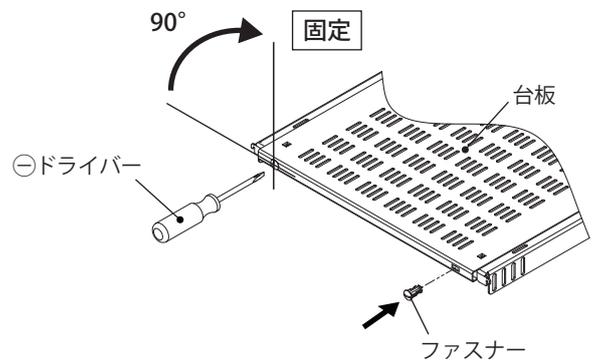
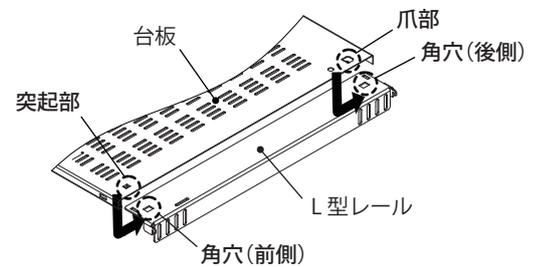
②台板の突起部と L 型レールの角穴(前側)の位置が合うように、台板を置いてください。

③付属のファスナーを台板前面の固定穴に差し込んで、⊖ドライバーなどで右回りに 90° 回して固定してください。

④台板を外す際は、ファスナーを左回りに 90° 回して固定を解除してください。

⑤ファスナーを前面に引いた状態で、台板を外してください。

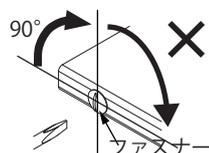
ご注意 ファスナーは完全に引き抜かないでください。



⚠ 注意



台板取付用ファスナーは 90° 以上回さないでください。破損の原因になります。



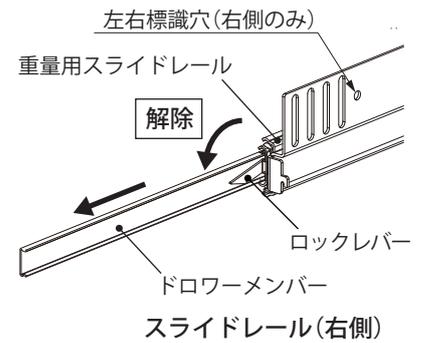
取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

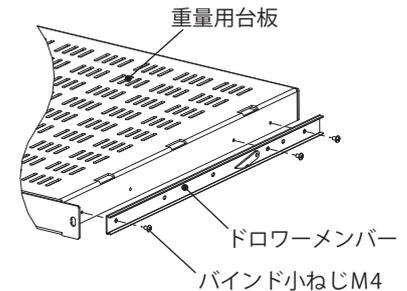
●重量用スライド式台板セット【RD161-□ES(K)】

1. スライドレールの取付

- ①重量用スライドレールからロックを解除して、ドロワーメンバーを取り外してください。
重量用スライドレールの右側はロックレバーを下げて、左側はロックレバーを上げてロックを解除してください。



- ②ドロワーメンバーを重量用台板に付属のバインド小ねじ M4 で固定してください。

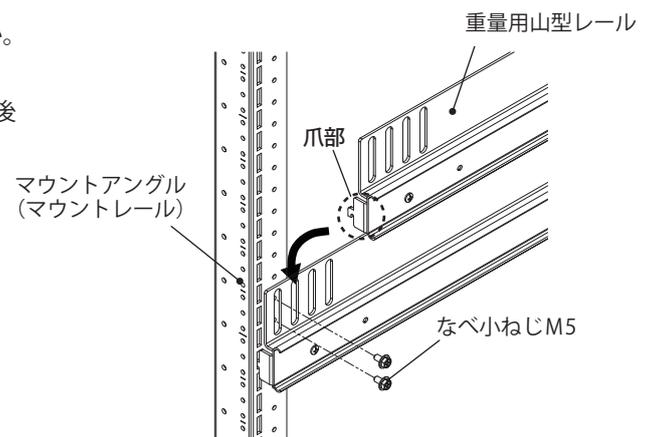


2. 山型レールの取付

重量用山型レールの爪部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引掛けて、付属のなべ小ねじ M5 (8 か所) で固定してください。

ご注意

マウントアングル(マウントレール)に番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。

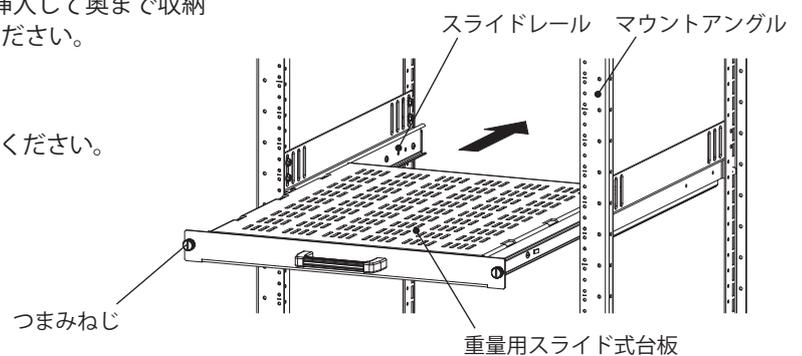


3. 重量用スライド式台板の取付

重量用スライド式台板を重量用スライドレールに挿入して奥まで収納して、つまみねじでマウントアングルに固定してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。
数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意



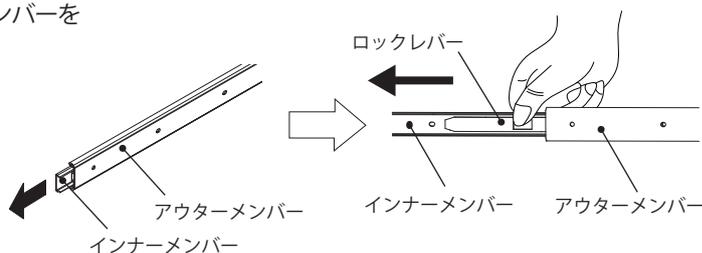
取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、
締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

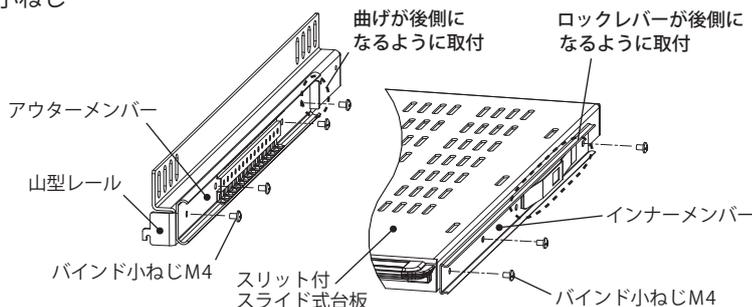
●スリット付スライド式台板セット【RD162-□SN(K)】

1. スライドレールの取付

- ①アウターメンバーからインナーメンバーを引き出してください。
ロックレバーを押し込んでロックを解除して、インナーメンバーを
アウターメンバーから取り外してください。



- ②山型レールにはアウターメンバー、スリット付スライド式台板にはインナーメンバーを、各々付属のバインド小ねじ M4(14 か所)にて固定してください。

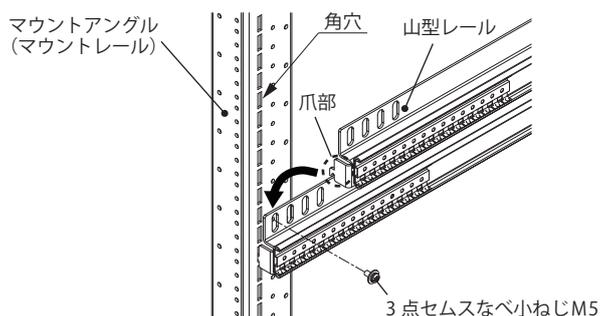


2. 山型レールの取付

山型レールの爪部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引掛けて、付属の 3 点セムスなべ小ねじ M5(4 か所)にて固定してください。

ご注意

前後左右で同じ高さの位置に取り付いているか確認してください。

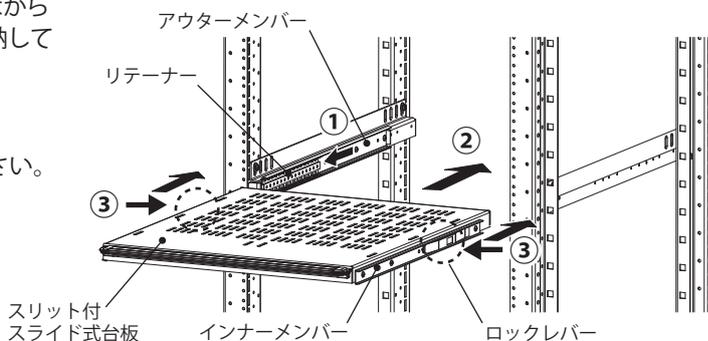


3. スリット付スライド式台板の取付

- ①アウターメンバーのリテーナーを前面側へ移動してください。
②スリット付スライド式台板のインナーメンバーをアウターメンバーに挿入してください。
③インナーメンバーのロックレバーを左右同時に押し込みながらスリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。
数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締めトルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締めトルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

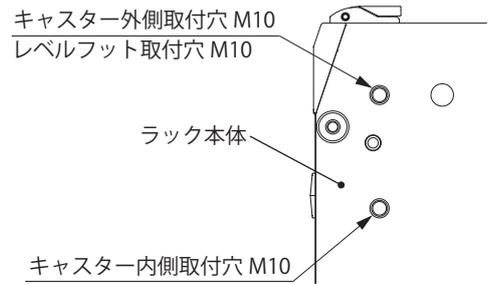
●キャスター【RD72-4(S)・-5(S)・6(S)】

ラック本体底面の4コーナーにあるキャスター外側取付穴 M10(4か所)に取り付けてください。

キャスターとレベルフットを同時取り付けする場合は、キャスター内側取付穴 M10 を使用してください。

【ご注意】

キャスターとレベルフット同時取り付けする場合は、【RD72-5(S)】+【RD73-6A】を推奨です。



●レベルフット【RD73-6A】

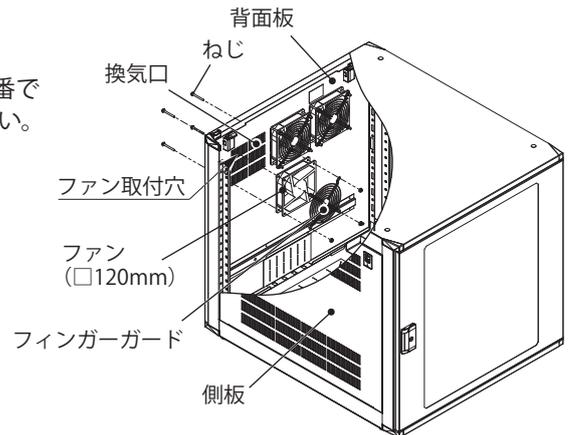
ラック本体底面の4コーナーにあるレベルフット取付穴 M10 に取り付けてください。

●背面板・側板へのファン(□120mm)

背面板・側板内側からファン(□120mm)、フィンガーガードの順番で換気口へファン取付穴(φ4.5)を利用してねじ止め固定をしてください。

ファン取付可能数

品名記号	背面板	側板
FV	3コ	フカサ 500,600mm : 2コ
FVN		フカサ 700mm : 3コ
FVW	—	—
FVS	—	—



⚠ 注意



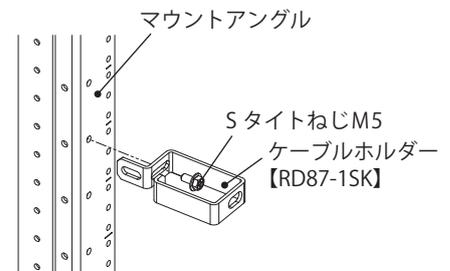
回転物注意

けがのおそれがあります。

- ・フィンガーガードを取り外したまま運転をしないでください。
- ・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。
- ・保守点検時は(ファンの回転を点検する場合を除き)必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。

●ケーブルホルダー【RD87-1SK】

マウントアングルの取付穴(φ4.6)に合わせて、付属の S タイトねじ M5 で固定してください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9

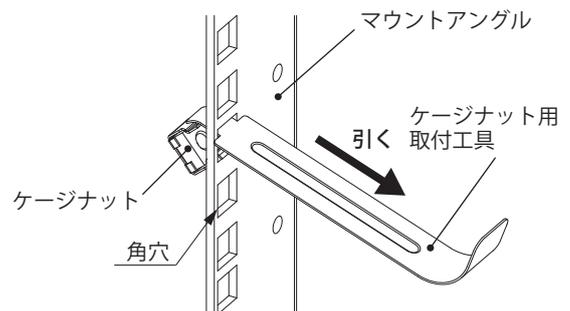
※ただし、S タイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

●ケージナット【RD751-□】

1. ケージナットのばねの一方を、マウントアングルの角穴に引掛けてください。
2. ラックに付属のケージナット用取付工具 または ⊖ ドライバーなどでもう一方のばねに引掛けて、引いて角穴に入れください。

【ご注意】

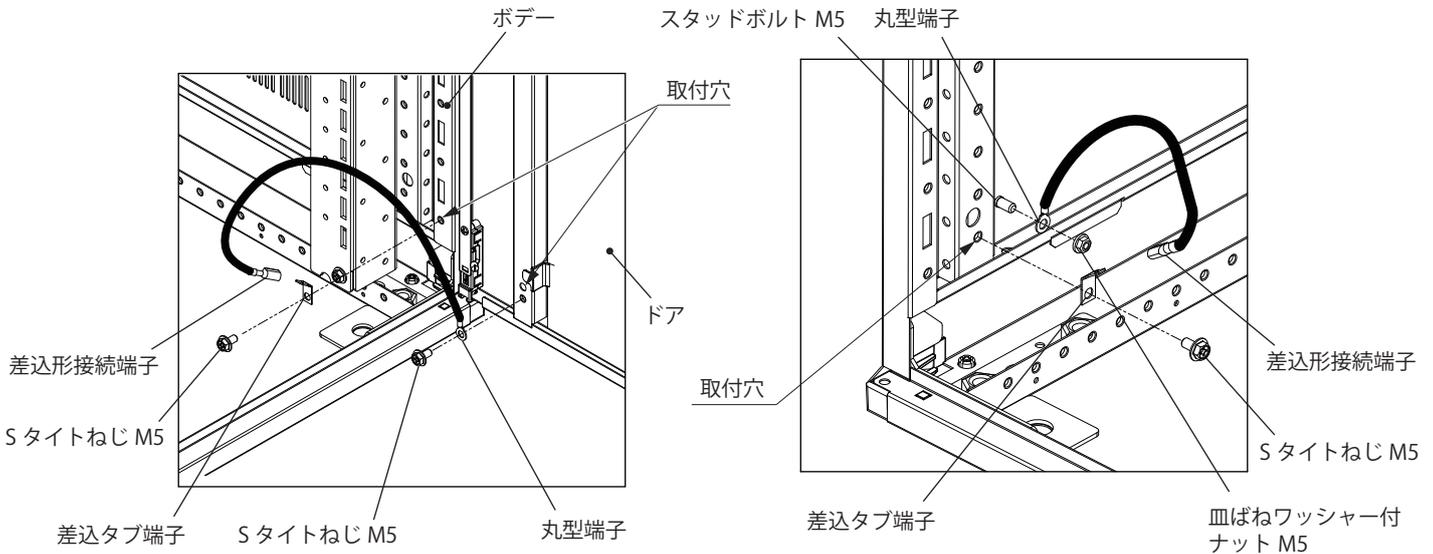
角穴ピッチが小さくケージナット同士が干渉して取り付けづらい場合は、ケージナットを 90° 回転させてヨコ向きに取り付けてください。



ケージナット(タテ向き)取付例

●アース線【RD891-20C】

1. ラック本体のボデーの取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属のSタイトねじM5で取り付けてください。
2. 外装パネルの取付穴(φ4.6)またはスタッドボルトM5へ、アース線の丸型端子側を付属のSタイトねじM5または皿ばねワッシャー付ナットM5で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1. でボデーに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、Sタイトねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2021年10月
B889100923

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION